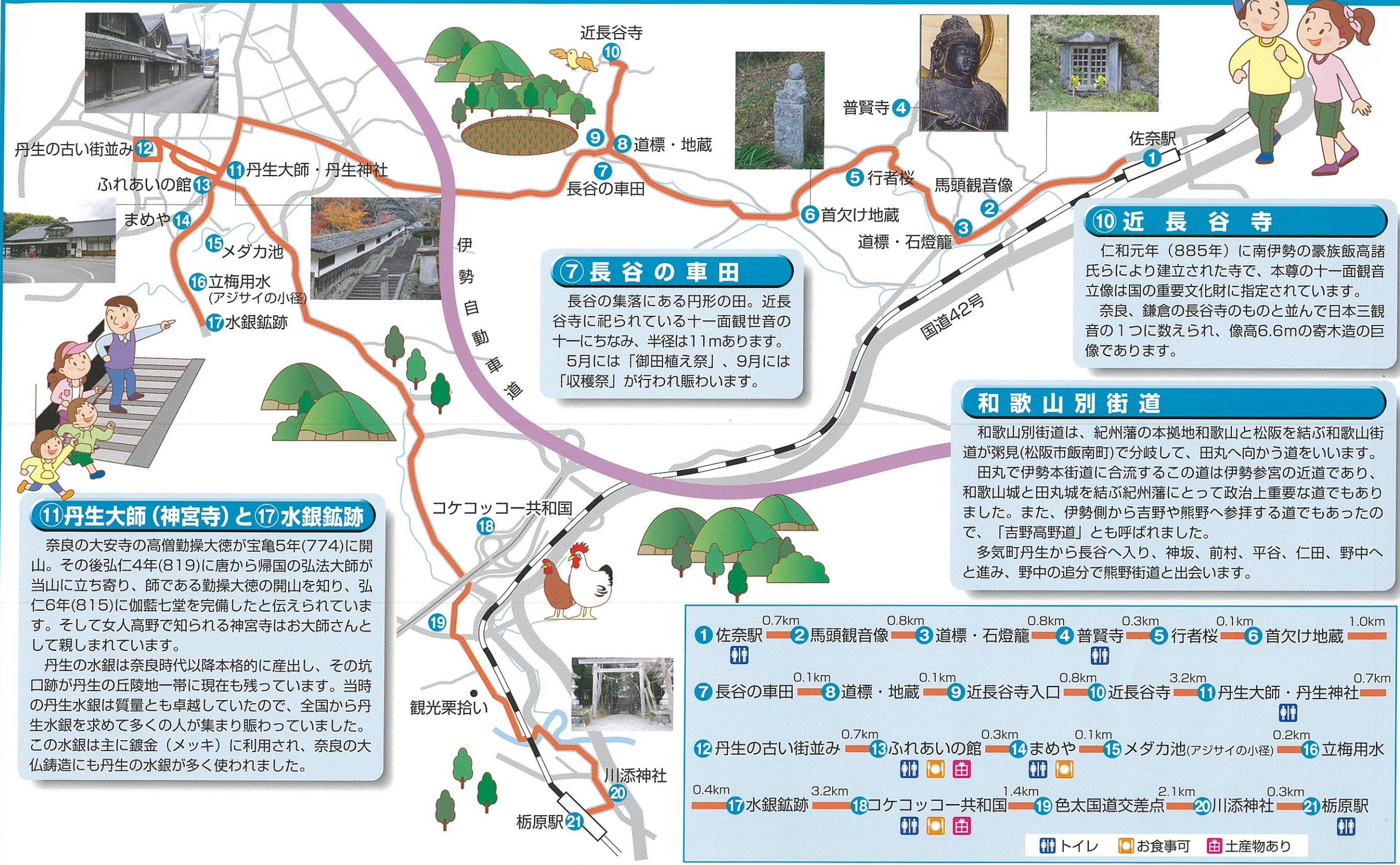


和歌山別街道と丹生大師を巡るコース (17km)

JR線を使ったウォーキング



⑦ 長谷の車田
 長谷の集落にある円形の田。近長谷寺に祀られている十一面観世音の十一にちなみ、半径は11mあります。5月には「御田植え祭」、9月には「収穫祭」が行われ賑わいます。

⑩ 近長谷寺
 仁和元年(885年)に南伊勢の豪族飯高諸氏らにより建立された寺で、本尊の十一面観音立像は国の重要文化財に指定されています。奈良、鎌倉の長谷寺のものと並んで日本三観音の1つに数えられ、像高6.6mの寄木造の巨像であります。

和歌山別街道
 和歌山別街道は、紀州藩の本拠地和歌山と松阪を結ぶ和歌山街道が粥見(松阪市飯南町)で分岐して、田丸へ向かう道をいいます。田丸で伊勢本街道に合流するこの道は伊勢参宮の近道であり、和歌山城と田丸城を結ぶ紀州藩にとって政治上重要な道でもありました。また、伊勢側から吉野や熊野へ参拝する道でもあったので、「吉野高野道」とも呼ばれました。多気町丹生から長谷へ入り、神坂、前村、平谷、仁田、野中へと進み、野中の追分で熊野街道と出会います。

⑪ 丹生大師(神宮寺)と⑬ 水銀鋳跡
 奈良の大安寺の高僧勤操大徳が宝亀5年(774)に開山。その後弘仁4年(819)に唐から帰国の弘法大師が当山に立ち寄り、師である勤操大徳の開山を知り、弘仁6年(815)に伽藍七堂を完備したと伝えられています。そして女人高野で知られる神宮寺はお大師さんとして親しまれています。丹生の水銀は奈良時代以降本格的に産出し、その坑口跡が丹生の丘陵地帯に現在も残っています。当時の丹生水銀は質量とも卓越していたので、全国から丹生水銀を求めて多くの人が集まり賑わっていました。この水銀は主に鍍金(メッキ)に利用され、奈良の大仏鑄造にも丹生の水銀が多く使われました。

① 佐奈駅	0.7km	② 馬頭観音像	0.8km	③ 道標・石燈籠	0.8km	④ 普賢寺	0.3km	⑤ 行者桜	0.1km	⑥ 首欠け地蔵	1.0km
⑦ 長谷の車田	0.1km	⑧ 道標・地蔵	0.1km	⑨ 近長谷寺入口	0.8km	⑩ 近長谷寺	3.2km	⑪ 丹生大師・丹生神社	0.7km		
⑫ 丹生の古い街並み	0.7km	⑬ ふれあいの館	0.3km	⑭ まめや	0.1km	⑮ メダカ池(アジサイの小径)	0.2km	⑯ 立梅用水			
⑰ 水銀鋳跡	0.4km	⑱ コケッココ共和国	3.2km	⑲ 色太国道交差点	1.4km	⑳ 川添神社	2.1km	㉑ 栢原駅	0.3km		

♿ トイレ
 🍽️ お食事可
 🏠 土産物あり